

「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」に関する市民意見と神戸市の考え方

■新庁舎の施設計画に関する意見

No.	意見本文	神戸市の考え方
1	1 階のホールは、区役所来庁者と混乱が生じないような動線や案内サインを考えてほしい。	<p>総合庁舎は、中央区役所と新たな文化施設を一体とすることで、様々な方が多数来庁される施設となりますが、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、全ての方が分かりやすく利用しやすい庁舎となることを目指します。</p> <p>今後、設計を進めていくにあたっては、来庁者が迷わずに目的地にたどりつけるよう、分かりやすい平面計画・動線計画や、表示・配置を工夫した分かりやすいサイン計画となるよう検討していきます。</p>
2	新しい庁舎は区役所も入るので、ホール利用者と区役所利用者が混乱しないように動線等を考えてほしい。区役所の上層階に入る会議室等も同様で、利用者に分かりやすい案内サインなどをお願いしたい。	
3	新庁舎へはスムーズに行けるよう案内表示やまた地下道の整備をお願いします。	
4	私の住んでいる場所からは、いままでの区庁舎とあまり変わらずに、行くことができます。が、出来れば、雨天時に傘をささずに、新区庁舎までいければと思います。 三宮の地下街から、直接入れるようにして頂けるように整備をお願い致します。 また、市役所本庁舎2号館との連結も地上間だけでは無く、地下からも行けるようにしていただければと思います。	
5	新庁舎のアクセスについてはさんちかからの地下道を延長するなどして、区役所や文化施設の利用者が雨に濡れることなくバリアフリーに行けるようになればいいのではないかと思います。	
6	新中央区総合庁舎に行くには、三宮からは地下で行ける様にして下さい。安全に活用したいです。	
7	中央区総合庁舎建て替えの件に関して、まずは市民誰もが使いやすい庁舎であって欲しい。例えば地下街からの通じる通路があれば、天候に関係なく高齢者や乳幼児を連れた人でも利用しやすいと思う。エレベーターの設置やスロープなどもあれば良い。	
8	新庁舎へ三宮からの行き方について、現在、さんちかから市役所への通路、大丸方面までの通路があるので、可能であるのかは、地下駐車場もあるので、わかりませんが、地下からの連絡通路を希望します。	

9	<p>新しい庁舎は、区役所と新たな文化施設と一体に整備する事になるので、利用者にとって分かりやすい案内サインの整備や、三宮から分かりやすい動線の確保をお願いいたします。</p>	<p>現在「さんちか」からの地下道に直接つながっている市役所2号館についても、建替えに向けた検討を進めており、今年の3月には「本庁舎2号館再整備基本構想」を策定したところです。今後、新中央区総合庁舎の設計を進めていくにあたっては、2号館側からの分かりやすく行き来しやすいアクセスの確保など、2号館側の計画等と連携し、技術的な観点も含めてどのようなことが出来るのか検討を行い、安全で便利な庁舎を目指します。</p>
10	<p>誰もが使いやすい施設にする為に、三宮からのアクセスや、庁舎内の案内サインなどユニバーサルデザインに配慮して整備を進めてほしい。</p>	<p>また、総合庁舎は、中央区役所と新たな文化施設を一体とすることで、様々な方が多数来庁される施設となりますが、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、全ての方が分かりやすく利用しやすい庁舎となることを目指します。今後、設計を進めていくにあたっては、来庁者が迷わずに目的地にたどりつけるよう、分かりやすい平面計画・動線計画や、表示・配置を工夫した分かりやすいサイン計画となるよう検討していきます。</p>
11	<p>他都市では、中心駅の「エキナカ」で集中的に店舗を展開している例が多いですが、神戸市の場合、三宮の各線の駅が狭小であるため、駅中心のにぎわいづくりに限界があると感じます。 駅から庁舎に至るエリアや庁舎自体も一体的に捉えて、自由な歩行導線を確認し、独創的にぎわいづくりをめざしてほしいと思います。</p>	<p>三宮周辺地区の「再整備基本構想」では、6つの鉄道駅が集中する三宮交差点を中心とした「えき」と「まち」をつなぐ空間を「えき～まち空間」と名付け、「えき」から周辺の「まち」への分かりやすく移動しやすい空間を創出し、にぎわいや活力を生みだすことを目標としています。現在この「えき～まち空間」の具体化に向けて基本計画の策定に取り組んでいるところです。</p> <p>また、この「えき～まち空間」に隣接する市役所2号館についても、建替えに向けた検討を進めており、今年の3月には「本庁舎2号館再整備基本構想」を策定し、人の流れや回遊性の向上、新たなにぎわいの創出のための機能を検討するとしています。</p> <p>今後、新中央区総合庁舎の設計を進めていくにあたっては、現在「さんちか」からの地下道に直接つながっている2号館側からの分かりやすく行き来しやすいアクセスの確保など、2号館側の計画等と連携し、技術的な観点も含めてどのようなことが出来るのか検討していきます。</p>
12	<p>旧居留地にふさわしい洗練された意匠デザインを期待します。</p>	
13	<p>新庁舎のデザインは、外部も内部も「さすがに中央区」と言われたいです。上品でモダンな中央区を表現して下さい。神戸カラーも忘れずに・・・。</p>	
14	<p>神戸の玄関口である三宮には、ランドマークとなるような建物が必要と考えます。</p>	
15	<p>要望としては、建設の場所が旧居留地内ですから、是非ともデザインなどいいものにして下さい。</p>	<p>建設地がある旧居留地は、歴史的環境と調和した重厚な街並みを形成している地区であり、地区計画や景観計画区域で定められた基準に配慮しながら、「神戸の歴史や文化の薫りが漂う風格ある街並み」形成に寄与する建物となるよう、デザインについてもしっかりと検討していきます。</p>
16	<p>デザインも次世代に誇れる洗練されたものなれば、素晴らしいです。がんばってください。</p>	

17	<p>設備面についても最新のものを導入してほしい。</p>	
18	<p>今回視点としても、災害に強く、安全・安心、省エネルギーで環境にやさしい庁舎とありますが、更に確かな防災力を持ち、環境にやさしく持続可能なまちを実現すべく、現在構築されているエネルギーシステムを踏襲した、面的エネルギー利用を検討されてはどうかと考えました。記載した意見について、ぜひご検討よろしく願いいたします。</p> <p>【意見】 現状の施設（市役所3号館）のエネルギーシステムは、電気・機械室棟（エネルギーセンター）を起点に市役所1～4号館の各庁舎の電源、空調の管理を行う形となっています。また、中央監視室は各庁舎の防災センターを兼ねており、万一災害が発生した場合でも影響なく指令・監視機能が果たせるように設計されています（※1）。 今回の新中央総合庁舎でも、災害に強く、安全・安心、省エネルギーで環境にやさしい庁舎を目指されていますが、BCP対策として、エネルギーの多重化や、防災に強いインフラ、自立分散型システムの導入（停電対応コージェネレーションや再生可能エネルギーなど）は必要不可欠と考えます。 また、「本庁舎2号館再整備の基本構想」でも、地域内でのエネルギー面的利用の検討（P18）が記載されていますが、今回の新中央総合庁舎もその検討の対象とすることで、エリア全体の防災性や環境性を高めることが可能となります。この考え方は、上位計画である【三宮周辺地区の『再整備基本構想』（H27.9公表）】の具体的方策についての方針5「いざという時、施設間で電気を融通しあえるなど、防災や環境に配慮したまちづくりを推進する（P26）」にも合致します。 よって、新中央総合庁舎では、新2号館のエネルギーセンターを利用した『次世代スマートエネルギーインフラ』の構築により、エリア全体の防災性向上と、より高い環境への貢献を目指すという内容を、基本構想に追記頂いてはどうかと考えます。ぜひご検討の程、よろしく願いいたします。</p> <p>※1 神戸市行財政局総務部庁舎管理課が平成30年3月に公開された「本庁舎2号館再整備基本構想」の P4,5に記載</p>	<p>基本計画では「新中央区総合庁舎の整備にあたっての視点」として、「災害に強く、安全・安心の庁舎」、「省エネルギーで環境にやさしい庁舎」を目指すとし、配慮すべき事例について記載しています。 新庁舎に求める具体的な機能の内容とそれを実現するために導入する設備機器の考え方については、今後設計を進めていく中で検討していきます。</p>
19	<p>施設の更新にあたっては、IT環境やユニバーサルデザイン等への対応もしっかり考慮して進めて頂く事を希望します。</p>	<p>新中央区総合庁舎は、分かりやすい案内サインや多目的トイレの充実などユニバーサルデザインの考え方に基づいて、全ての方が分かりやすく利用しやすい庁舎となるよう、検討を進めていきます。 また、区役所においてはOAフロアの採用など、ICT技術の高度化にも対応可能とするとともに、文化施設においても、施設利用者によるモバイル機器の使用に対応できるICT環境の充実などを検討します。</p>

■新中央区役所の機能と施設内容に関する意見

No.	意見本文	神戸市の考え方
20	区役所機能が1階に全くないのなら、少なくとも総合窓口は1階玄関からわかりやすい誘導策が必要と思います。	総合庁舎は、中央区役所と新たな文化施設を一体とすることで、様々な方が多数来庁される施設となりますが、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、全ての方が分かりやすく利用しやすい庁舎となることを目指します。 今後、設計を進めていくにあたっては、来庁者が迷わずに目的地にたどりつけるよう、分かりやすい平面計画・動線計画、表示・配置を工夫した分かりやすいサイン計画となるよう検討します。

■新たな文化施設の機能と施設内容に関する意見

No.	意見本文	神戸市の考え方
21	現在の勤労会館の会議室は天井も高く使いやすいので、新たな文化施設でも無理やり機能を押し込めることなく、利用者にとって使いやすい施設として整備してほしい。	中央区庁舎のあり方、勤労会館のあり方については、区民・市民の意見をいただきながら検討を進めて、その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。 施設の詳細な規模や機能などについては、今後、設計を進める中で、現在の勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の利用状況やこの度頂いたご意見なども踏まえて検討してまいります。
22	労働団体は定期大会や講習会など、様々な用途で会議室を使用しているので計画案のような大・中・小の規模の異なる会議室の整備がありがたい。 なお、可動式間仕切り等の活用にあたっては、音漏れ等がないよう配慮していただきたい。	
23	新たな文化施設に整備する会議室は、計画に記載のとおり様々な用途で使用できる大きさの会議室の整備をお願いしたい。	
24	新たな文化施設に配置する会議室や多目的ホール等は、現行の施設数や利用状況を踏まえた数になっており良い案だと思います。	
25	文化センターの設備については、特定目的室の設備は新しい器具の必要性はもちろんですが古い用具も少しは活用してほしい、熟年者の利用がしやすいと思います。	
26	和室につきまして、床の位置、畳の敷き方、炉の位置等など、茶道の先生がたのご意見を拝受のうえ、茶道の多様なお稽古ができるよう、設備を充実・整備されますようお願いいたします。	

神戸市中央区では近年益々文化活動への関心度が高まっています。団塊の世代の利用が増えています。特に音楽への学習意欲は大勢の指導者によって高められ、数多くの音楽講座が開講されています。私共もこれまで20年間に渡り、中央区内文化施設（勤労会館・葺合文化センター・生田文化会館）において多岐に渡る文化事業（音楽講座指導・音楽イベント等）を開催し地域文化の発展に助力して参りました。魅力ある趣味の講座の増設し、将来的に高齢者が引きこもり孤立しないよう、地域社会との繋がりを守るための受け皿を広げることが求められています。歌や楽器を演奏することは一朝一夕にはできません。コツコツと積み重ねた技術によって自己の音楽性を発揮することが可能になります。そして音楽を通じた住民間のコミュニケーションが広がります。住民が自己表現できる場所はなくてはなりません。この度、新中央区総合庁舎整備に伴い、文化施設の縮小閉鎖が予定されています。地域住民が文化向上の基盤としてきた施設がなくなると、これまで積み重ねてきた努力が水泡に帰すこととなりかねません。よって、以下の事項についてお願いいたします。

・ 請願事項

1. 視聴覚室・音楽室（ピアノ付き防音室）を6室以上配置してください。葺合文化センター移転前にはピアノ室として2室ありました。生田文化会館にはピアノ室として、音楽室・視聴覚室・多目的室の3室あります。勤労会館にはピアノ室として、多目的室が1室あります。合わせて6室の必要があります。
2. 収容人数200～300人規模で、使用者が基本操作（照明音響）可能な小規模ホールとミニホールを各1施設、合計2施設以上配置してください。葺合文化センターには収容人数約160人、生田文化会館には収容人数約250人のホールがあります。これらと同等のホールを配置してください。小規模ホールとは多目的ホールではありません。演劇、コンサート、ダンスや音楽発表会ができる舞台付きホールです。グランドピアノを配置してください。

27

収容人数500規模の本格的な芸術文化活動に対応するホールでは、地域住民が小規模な文化事業を効率的に開催するのは困難です。照明、音響が本格的になるほど使用料は高額となります。またアマチュアに、大きいホールの隅々に行き渡る演奏技量を求めることはできません。近所、友人、親戚が集まり、その一人一人に向かっての自己発表会が可能な大きさのホールが求められます。ホールは舞台上から客席に向けた交流だけでなく、客席からも演じ手へ感情が寄せられ、両者によって一つの作品が完成します。ですから「大ホールは小ホールを兼ねる」ことはできません。本格的芸術ホールで芸術家が演じる芸術文化作品に住民が感動することは非常に価値あることです。一方、住民自らの手で芸術文化を求め創作活動を行うことにもないがしろにはなりません。例えば、ご近所のAさん宅からよくオカリナの音色が聴こえる。時々ゴミステーションで世間話をするAさんにオカリナ発表会に誘われる。日頃から意欲的に技術を磨いている姿、一生懸命演奏している姿に感動を覚える。こうして意欲的に学ぼう、本格芸術を鑑賞しようという関心が高まっていくものです。神戸文化ホール小ホール（海員会館450席）が2005年閉鎖されました。かつては神戸新聞会館に1施設、神戸国際会館に1施設の小規模ホールがあり、ピアノ発表会などが盛んに開催されていました。「住民の手づくり発表会」が可能な小ホールが老朽化とともに減少しています。こういった住民の手による文化創作の場が失われることは大きな損失となるのではないのでしょうか。小ホールとミニホールだからといって、杜撰な設計になってはなりません。西区民センターホール、生田文化会館ホールは、上手（かみて）が使えません。演劇、歌舞伎、歌劇等演じるには上手（かみて）と下手（しもて）の両方が使えなくてはなりません。高額な施設でなくても構いませんが、不完全な設計では困ります。将来的にも負の遺産とならないような市民に永続的に利用してもらえるような施設設営であることを望みます。地域住民の手による文化創作の可能な小ホールとミニホールが整備・配置されることを願います。 以上

中央区庁舎のあり方、勤労会館のあり方については、区民・市民の意見をいただきながら検討を進めて、その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。

新中央区総合庁舎には、音楽室等の特定目的室については1～2室設け、あわせて1階に多目的ホールを設けることにしていますが、それらの詳細な規模や機能については、今後具体的な設計を進める中で、現在の勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の利用状況やこの度頂いたご意見なども踏まえて検討してまいります。

並行して、新たな文化ホールの整備については、基本計画検討委員会を設け、芸術家や芸術文化団体関係者、学識経験者、経済界、市議会等に幅広くご参加いただき、様々な観点からご意見をいただきながら検討を進めています。

加えて、文化団体や利用者への個別のヒアリング、アンケート、パブリックコメントも実施していく予定です。

28	現在、勤労会館の大ホールを、労働団体の定期大会や集会時に活用している。新しい庁舎の1階にも多目的ホールを整備するにあたっては、ホール前に受付スペース等を確保してほしい。	多目的ホールの詳細な規模や機能については、この度頂いたご意見なども踏まえ、今後、具体的な設計を進めていくなかで検討してまいります。
29	多目的ホールが1階にあるのは便利だと思う。	
30	新たな文化施設を整備するにあたっては、基本計画案に記載している労働団体に対する、施設利用料金の減免や施設の優先使用制度の維持はもちろん、内容については少なくとも、勤労会館の基準と同等になるようにしてもらいたい。	<p>これまで実施した市民意見募集や市内労働団体からの要望の中で、勤労者の福祉増進や労働団体の活動のため、労働団体向けの優先予約や減免の制度は継続してほしいなどの声を多くいただきました。</p> <p>これらのご意見をふまえ、新中央区総合庁舎整備基本計画では、「勤労者福祉向上のための労働団体に対する施設利用料金の減免や施設の優先使用の制度は、今後も区民・市民の利用との調整を図りながら制度を維持するとともに、市内の勤労者全体の福祉向上に資する団体の活動拠点を確保する。」こととしています。</p>
31	わたしたち労働団体は、日頃から勤労会館で定期大会や決起集会、様々な会議や学習会を実施しています。計画にも記載されていますが、新たな文化施設でも、施設利用料金の減免や施設の優先使用制度は現行のまま維持してもらいたい。以上の理由から基本計画で良いと考えています。	
32	勤労者向けの優先使用や減免制度も必ず継続してほしい。	
33	新たな文化施設は、勤労会館、葦合文化センター、生田文化会館を一体整備しているので、会議室等の取り合いにならない様に、優先使用などの制度は必ず維持していただきたいと思えます。	
34	新たな文化施設においても、勤労者全体の福祉向上を進めていくための活動拠点を確保してください。	

■基本計画全般の進め方に関する意見

No.	意見本文	神戸市の考え方
35	新中央区総合庁舎整備基本計画案のとおり事業が進み、三宮周辺地区の再整備基本構想が進んでいくのを楽しみにしています。	<p>神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考えていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも中央区庁舎のあり方、勤労会館のあり方については、区民・市民の意見をいただきながら検討を進め、その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葦合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。 今後は、この基本計画に基づいて設計を進め、出来るだけ早く新総合庁舎が完成するよう努めてまいります。</p>
36	新中央区総合庁舎の整備については、着々と計画が進められ、とても喜ばしいと思っています。	
37	「新中央区総合庁舎整備基本計画」について資料、計画を拝見いたしました。この計画に沿って、神戸の魅力を更に発信して頂き活力のある街づくりを進めて頂きたいです。	
38	新中央区総合庁舎整備計画についても、計画案の通りしっかり、スピード感をもって進めていただきたい。	
39	この計画（案）のとおり進めていただきたいと思えます。勤労会館の体育館をよく利用しており、新しい場所にできる体育館も利用させていただきたいと思えます。	
40	この計画（案）のとおり進めていただきたいと思えます。生田文化会館の会議室を利用させていただくことがありますが、三宮近くになると便利で助かります。	

41	三宮の回遊性が良くなる計画だと思います。スピーディーな事業の進行を期待しています。	
42	この計画どおり進めてほしい。文化ホールが三宮にくると、コンサートを観に行きやすくなり助かります。	
43	神戸市にとって三宮の再整備は必要なことだと思いますし、その中で、中央区役所や文化施設が新しいきれいなものになることはよいことと思います。 ぜひ、この先の数十年使えるような立派なものをつくってください。	神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考えていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。 三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。
44	基本計画どおりでいいと思う。	
45	新中央区総合庁舎整備基本計画（案）では、行政機能の集約とともに、新たな文化施設の整備が想定されており、市民のみならず観光客にとっても魅力的なスポットとなることを期待しています。	中でも中央区庁舎のあり方、勤労会館のあり方については、区民・市民の意見をいただきながら検討を進め、その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。
46	計画案に沿って事業を進めていただきたいと思います。	
47	基本計画に賛成。計画通り進められることを期待します。 神戸の表玄関である三宮一帯が大きく変わっていくことに大いに期待しています。 区役所と文化施設が同じに入ること、区民の使い勝手がとても良いものになるし、地域活動や文化活動と区役所との連携が取りやすく、活発になると思います。 体育館は磯上公園と一体的に屋内屋外スポーツの拠点になるといいですね。	このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。 今後は、この基本計画に基づいて設計を進め、出来るだけ早く新総合庁舎が完成するよう努めてまいります。
48	とても良い計画（案）だと思います。	
49	基本計画に賛成です。施設がより使いやすくなるので嬉しいです。	
50	文化施設（勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館）を一体的に整備することは非常によいことだと思う。一つの区に同じような目的の施設が3つあるのは多いと思うし、利便性がよい三宮にいいものが一つあれば、市民全員にとって望ましいと思う。	中央区庁舎のあり方、勤労会館のあり方については、区民・市民の意見をいただきながら検討を進め、その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。 施設の詳細な規模や機能などについては、今後、設計を進める中で、現在の勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の利用状況やこの度頂いたご意見なども踏まえて検討してまいります。

51	今回の新中央区総合基本計画案は、勤労者の声をよく聞いていただいた内容だと思う。現在の勤労会館で適用される制度も継続する案になっており、このまま進めてほしい。	
52	計画案を確認したが、労働団体の意見も反映された内容で良いと思う。	
53	新中央区総合庁舎整備基本計画（案）に対する意見です。新中央区総合庁舎整備基本計画（案）は、勤労者の声を反映した計画になっていると思うので、この計画どおりに進めてほしい。	
54	市民や勤労者の意見を丁寧に聞きながら、しっかり手順を踏んで計画を策定されていると思います。この整備計画にも書いているとおり、勤労市民の福祉向上のための拠点となるよう整備いただきたいと思います。	区庁舎は乳幼児連れの方から高齢の方まで様々な方が多数来庁される区民サービスの拠点であり、また、勤労会館は市内勤労者のみならず、多くの一般市民も利用する施設です。そのため、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。
55	計画を見たが、これまで労働団体として要望してきた内容は考慮されていると思う。	その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。
56	市民団体や市民の方の意見を踏まえた内容となっていると思います。勤労会館の会議室をよく利用しているので、新しい場所への移転について、順調に事業を進めていただきたいと思います。	
57	多くの市民の意見を反映した内容になっており、この計画（案）のとおり進めていただきたいと思います。三宮が活性化することを期待しています。	このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進め、出来るだけ早く新総合庁舎が完成するよう努めてまいります。
58	新中央区総合庁舎整備については、三宮周辺地区の再整備基本構想を踏まえ、市民の声を聴きながら、必要な施設の配置を検討し、より多くの区民・市民に利用されることを考えた素晴らしい計画だと思います。	
59	計画を進めるにあたっては、節目節目の事業の進捗に合わせて、これまで同様に勤労者の声を聞くようにしてほしい。	勤労会館の機能に関しては、これまでも勤労者福祉事業懇話会やその後の市民意見募集、さらには市内労働団体からの要望の中でいただいた多くの意見をふまえ、市役所3号館跡地で新中央区総合庁舎として、中央区役所、葺合文化センター、生田文化会館と一体整備することとなりました。
60	この計画案に沿った計画で良いと思うが、今後も引き続き市民の意見及び、特に勤労会館の機能移転については関係団体の意見を良く聞いて事業を進めてもらいたい。	今後もみなさんのご意見を丁寧に聞きながら、勤労者を含む多くの市民が使いやすい文化施設となるよう整備を進めてまいります。

あまり新庁舎に関係ない意見を言わせてもらいます。すでに新庁舎の概要や機能はほぼ決まっているようなのでとくに異存はありません。決まっている内容に託児所機能が欲しいとか休憩スペースが必要という意見ならほかの方に任せましょう。ただこの案件に関して、平成29年度の「新中央区役所のあり方 意見募集」から「勤労会館のあり方」含め、今回が7度目のパブコメ募集だが、いったいこれだけのパブコメ募集をしつこくやる自治体が日本中どこにあるのか？他都市（東京、横浜、大阪）のパブリックコメントはせいぜい1回で終わっている。正直、全体プロジェクトの三宮再整備（三宮クロススクエア）さえ30年という長期計画なのに、メインのバスターミナルビルに向けての中央区役所、勤労会館の移転がまず肝要でアクションプランまで公表したのだから、早急に計画を進める準備が必要である。まったくスピード感がなさすぎだと感じる。

さらに年初より、この三宮再整備の意見の提出を呼びかけている団体もあるようだが、市行政は反対意見待ちをわざわざしているかのように感じるのはわたしだけだろうか？ 三宮再整備における役所再配備の広報の一連の流れを見ると、中央区民に限定した「中央区役所のあり方」の意見募集から始まり、「勤労会館のあり方」を経て「新中央区役所のあり方」までのパブコメ募集に対する市や区役所の考え方の公表まで、行政は筋を通して説明しているのにまるで市民、中央区民に全く理解されず把握されず、誤解をうけながら、議論を続けようとしている感じである。まったくもって神戸市民にとって無駄な時間、議論の繰り返しである。だいたい、生田文化会館、葺合文化センターの集約に関しては、中央区民からの要望であり、行政からの発案ではない。区民の要望に答えてたのに、とうの中央区民がまったく知らなかった、市民の意見を聞かなかつたと反対しているのである。いつの間にか行政が発案したかのようにも論点がすり替えられている。

また、新2号庁舎にも関連するのと言わせてもらおうが、神戸文化ホールの三宮移転に関しては平成29年にまとめられた「神戸市役所本庁舎のあり方に関する懇話会」における有識者会議の中で、ホール機能が新庁舎に必要という決議案件のもとに、市役所内部で建て替えが検討された神戸文化ホールを移転することで、経費効率化を図ったものと思われる。これらは今までの三宮再整備における会議や議事録を読めばこの流れが理解できるのだが、新庁舎に対する数ある反対意見の中で、いっさいこの議事に触れられるものはなく、まったく把握されていない意見ばかりと感じる。逆に市行政はこのことに関しては猛省を促したい。有識者会議では神戸市の現状を把握できていない多方面のコメンテーターが集まって意見している。神戸市の動向（人口、経済、産業）を把握しないまま会議をして意見を述べ合っている。有識者の選定ももっと慎重に行うべきと感じる。

これらプロジェクトに対し真面目に考え、建設的な意見を述べている市民に対しても度重なるパブコメ募集は不快であり失礼である。できればハコもの行政自体のパブリックコメントは今後いっさい行わないようにしていただきたいぐらいである。中央区役所、勤労会館に勤務の職員の方々は早期に新庁舎移転の心構えを持っていただきたい。施策が混乱するなら市行政の責任と思う。行政サービスの向上に関して中央区民は好意的な意見が多い。結構なことである。さらなる研鑽を積んで業務に当たっていただきたい。

区庁舎は乳幼児連れの方から高齢の方まで様々な方が多数来庁される区民サービスの拠点であり、また、勤労会館は市内勤労者のみならず、多くの一般市民も利用する施設です。そのため、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。

その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。

このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進め、出来るだけ早く新総合庁舎が完成するよう努めてまいります。

また、事業の実施にあたっては、これまで様々な手法を講じて出来る限り周知に努めてきました。今後もさらなる周知に努めていきたいと考えています。

62	勤労会館の体育館機能の整備に当たっては、市民や勤労者の高いニーズを考慮して、その利用を妨げることをないよう配慮してほしい。	体育施設については、新中央区総合庁舎整備基計画と併せて、磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設と調整しながら整備を進めていきます。
63	勤労会館や生田文化会館などの体育施設に対する市民や勤労者の高いニーズを考慮して、その利用を妨げることをないよう配慮していただきたい。	現在の勤労会館体育館、生田文化会館体育室の高い利用率を鑑み、できるだけ利用者の皆さんにご不便をお掛けしないよう、最大限努力してまいります。
64	青少年会館の代替施設を作り上げてから既存の施設を処分すべき。先に潰すなどはもったのほか！	青少年会館については、神戸駅もしくは三宮駅周辺において代替施設の整備完了後、移転する予定です。
65	設計施工一括発注方式（DB方式）ということですので、タイトなスケジュールに対応するため、工期短縮を図られるのだと思います。 この方式の場合、ここで記載される内容が肝で、施工時における受注者とのトラブル発生数や、完成物件の良し悪しを左右することになります。 多忙を極めておられるかと推察いたしますが、この「要求水準書」作成については、ぜひとも十分に時間を割いていただければと思います。結果的には施工の効率化に大きく寄与してくると思います。	設計施工一括発注方式を採用する場合は、ご指摘の点についても十分に考慮して進めていきたいと考えています。

■ 現施設の跡地に関する意見

No.	意見本文	神戸市の考え方
66	<p>葺合文化センターの役目も総合庁舎に引き継がれることとなりました。地域では、葺合文化センターが担っていた、集会所の役目を、雲中地域福祉センターが引き継ぐこととなります。</p> <p>しかし、今の雲中地域福祉センターはあまりにも、老朽化がひどく、雨漏り、壁の落下、ひずみ、ひび割れ等さまざまな問題が蓄積されています。福祉と名うってはいるものの、雨の降り込むすべりやすい階段、老朽化など、万が一の事故を考えると、福祉とは言えない気がします。すぐ近くに葺合文化センターの跡地があるので、その場所に移転して頂ければ、高齢者、幼児にやさしい、地域の福祉センターになるのでは、と心より思わずにはいられません。</p> <p>同じ建物内の児童館の雨漏りはセンター以上にひどく、天井が一部めくれています。大がかりな改修が必要になっています。今年度の学童保育数は100名を超え、こども達に、老朽化が原因で何かあればと心配の種はつきません。この度は雨漏りですが、一年一年と年を重ねる毎に、改修の費用はかさばる事と思われまます。</p> <p>いくらお金をかけても所詮は老朽化は食い止められません。移転を早く決断して頂くことが、最良の方法と思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。</p>	<p>葺合文化センターの跡地活用については、地元の地域団体等からも、北側に隣接する地域福祉センター、こども園、児童館からなる建物が老朽化していることから、拡充や建て替えを望む要望をいただいています。</p> <p>また、昨年度開催された中央区区民まちづくり会議において、「中央区庁舎のあり方」等について、ご意見をお聴きする中でも、跡地には、地域住民の集会機能も担う地域福祉センターを新しく整備して欲しいといった声もいただいています。</p> <p>今後の活用については、地域からのご意見やご要望を踏まえて、検討してまいります。</p>

67	<p>雲中地区にて地域活動に関わっておりますので、福祉センター、こども園、児童館については葺合文化センター跡地に建設をお願いします。老朽化、雨もりも年々ひどく、また福祉センターは階段を利用するため高齢者や子育て中の方たちの足が遠のいている現状です。総合的な施設になりますようお願いしております。</p>	
68	<p>整備が進めば、現葺合文化センターは役割を終えてよいと思うので、一刻も早く跡地を使って、老朽化が進んでいる保育所、児童館、地域福祉センターの建替を進めて欲しい。地元はそれを望んでいます。</p>	
69	<p>旗塚のこども園、学童保育をしている児童館はボロボロです。葺合文化センターの跡地で建て替えをお願いします。子どもの施設のことで、切実な思いを持っています。きれいで、子どもたちが安心して通えるものを整備してください。</p>	
70	<p>葺合文化センター跡地には現在の福祉センター、こども園、児童館の総合的な施設を建てていただきたい。今の施設は老朽化が進みとてもひどい状態です。地域の人や子供達が多勢利用するのに不便だし危険だ。またエレベーターがないので高齢者や障がい者、ベビーカーでの利用もとても不便。子育て支援、高齢者支援を積極的に地域全体で取り組んでいるので是非お願いします。</p>	<p>葺合文化センターの跡地活用については、地元の地域団体等からも、北側に隣接する地域福祉センター、こども園、児童館からなる建物が老朽化していることから、拡充や建て替えを望む要望をいただいています。</p>
71	<p>新庁舎周辺ならびに三宮、中央区の再開発として、「雲中地域福祉センター」「旗塚児童館」「はたつかこども園」の3施設を、新しく・広い建物に移転いただきたく希望いたします。</p> <p>「雲中地域の地域福祉センター」は、「旗塚児童館」と「はたつかこども園」の計3施設で一体となり、地域の子供から大人までの福祉活動につとめています。</p> <p>しかしながら建物が、築50年を迎え、老朽化により不便な運営を強いられています。建物老朽化の影響は、一般的な補修でまかなえるものではなく、大規模修繕が必要です。また、急こう配の階段など、設備も古いため、お年寄りや乳母車が利用しにくい状態です。運営だけでなく利用の面からも不便を強いています。利用時の不便は運営でカバーしきれるものではありません。</p> <p>「旗塚児童館」と、「はたつかこども園」も同様の内容です。</p> <p>それに加え、旗塚児童館は、高学年受入れもない現状で、すでに受入れ児童の過密状態が続いています。具体的に見通せる向こう数年期間では、児童数減少はなく、増加一途です。はたつかこども園も地域家族数の増加で面積に余裕がなく、受入れ余剰がありません。建物老朽化と子ども人数増加は、運営改善ではどうにもならない段階です。多様な設備で、市民が利用しやすい新庁舎は希望にあふれ、三宮の再開発、神戸の窓口として、施設の集約は利便性からもふさわしいことです。</p> <p>地域団体や施設も、建物老朽化と地域住民の増加で見直しの時期にきています。</p> <p>隣地に葺合文化センター跡地のある、地域福祉センター、児童館、認定保育園にも十分に配慮いただきたく、お願いいたします。</p>	<p>また、昨年度開催された中央区区民まちづくり会議において、「中央区庁舎のあり方」等について、ご意見をお聴きする中でも、跡地には、地域住民の集会機能も担う地域福祉センターを新しく整備して欲しいといった声もいただいています。</p> <p>今後の活用については、地域からのご意見やご要望を踏まえて、検討してまいります。</p>

72	<p>1. 葺合文化センターの跡地には、地域住民の集会機能も担う地域福祉センターを新しく整備して欲しい。</p> <p>2. 葺合文化センターの跡地は、隣接する雲中地域福祉センター、旗塚児童館、はたつかこども園が老朽化しているので、建替用地として活用してほしい。</p> <p>3. 葺合文化センター旧本館跡地の北側にある雲中地域福祉センター、旗塚児童館、はたつかこども園からなる建物の老朽化が進んでおり、旧本館跡地への移転・拡充をお願いしたい。旗塚児童館は雲中ふれあいまちづくり協議会が運営しており、今後 NPO 法人の立ち上げが必要となるが、例えば旗塚児童館が民間事業者の運営になった場合、ふれあいのまちづくり協議会として NPO法人の立ち上げをする必要がなくなる場合もある。すぐには難しいかもしれないが、葺合文化センターの跡地活用についてできるだけ早く方向性を示してもらいたい。</p>	
73	<p>勤労会館・葺合文化センター・生田文化会館を新庁舎に集約してはどうか？という意見を拝見いたしました。定期的に生田文化会館(体育館)を利用している区民としては、新庁舎とは別に東西に地域住民が利用しやすい文化施設は残して欲しいと考えています。</p> <p>そして、葺合文化センター跡地には中央区東地区向けの体育室・トレーニング施設を備えた新たな文化施設が作られることを望んでいます。</p> <p>旗塚児童館も児童数に対して狭くなっているようですので、新たな文化施設とともに移転・拡充すると、児童数が増加に対応できるのではと思います。</p>	<p>葺合文化センターの跡地活用については、地元の地域団体等からも、北側に隣接する地域福祉センター、こども園、児童館からなる建物が老朽化していることから、拡充や建て替えを望む要望をいただいています。</p> <p>また、昨年度開催された中央区区民まちづくり会議において、「中央区庁舎のあり方」等について、ご意見をお聴きする中でも、跡地には、地域住民の集会機能も担う地域福祉センターを新しく整備して欲しいといった声もいただいています。</p> <p>今後の活用については、地域からのご意見やご要望を踏まえて、検討してまいります。</p>
74	<p>葺合文化センター 跡地についての希望</p> <p>隣接して、現在雲中地域福祉センター、旗塚児童館、はたつかこども園(同じ建物内)があり、老朽化が進んでおり、どこかが工事をすると他の箇所のひび割れが発生しています。雲中地域福祉センターの利用者は高齢者で、2階へ上がりづらい人が増え年々元気なのに来られない方が増えて来ているのが現状です。</p> <p>児童館においては、市の取り組みとして高学年の受け入れをしていくべきなのに、受け入れできない状況にあり、人数も増加しています。</p> <p>こども園に関しても、共稼ぎで人数が増えており、手狭になっています。</p> <p>是非とも跡地に、雲中地域福祉センター、旗塚児童館、はたつかこども園の計画を希望します。</p>	

75	<p>三宮整備計画の一環として、私たちの主となる活動拠点の『生田文化会館』について今まで通り、継続して体育室を使用できるようにお願い申し上げます。</p> <p>昨年度の市政懇談でもお願いいたしましたが、地域の小学校などの他の施設を利用してくださいとの回答のみでした。学校の施設は、スポーツクラブの導入で決まった日時（土日）の利用しかできません。学校行事・児童の活動が優先されますので、活動できない期間もかなりあります。</p> <p>地域の活動の場として、『生田文化会館』の体育室は、無くてはならない存在になっています。昨年度から、バレーボール大会を開催するなどして、館の方々とも交流が有り地域のママさん（高齢化が進んでおりますが）たちの、活動拠点、生きがいになっておりますことをご理解いただき、ご考慮いただけますようお願いいたします。</p> <p>中央体育館・・・大会使用でほとんど埋まってしまい、抽選に参加することもできません。県職員会館・・・使用料金が高く、設備が革バレーのコート1面分の設備しかないので、使用できません。</p> <p>福祉交流会館体育室・・・</p> <p>清風公民館体育室・・・講座・登録グループで、ほぼ埋まっています。</p> <p>磯上公園付近への体育館の新設の案も存じた上での、お願いです。</p> <p>歳を重ねていっても、バレーを楽しみたい・・・また、若いママさんにおいては、子供たちが学校帰りにのぞいたりできるこの施設の重要性をご理解いただきご検討くださいますよう、お願い申し上げます。</p>	<p>新たな文化施設（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」でご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行いました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>今後はこの基本計画に基づいて設計を進め、出来るだけ早く新総合庁舎が完成するよう努めてまいります。</p> <p>現在の山手地域福祉センターの移転が必要となった際には、現在の生田文化会館の周辺に活動場所を確保できるよう努めさせていただきます。</p> <p>また、地域の皆さまからも地域住民の集会のほかクリスマス会などのイベント、卓球、体操などに活用できる多目的なスペースの確保について、ご意見をいただいているところです。</p> <p>地域からのご意見、ご要望も踏まえつつ、生田文化会館や山手地域福祉センターの今後のあり方について検討してまいります。</p>
76	<p>山の手地域福祉センターを現在の生田文化会館の近くの場所に確保して欲しい。</p> <p>現在生田文化会館には、私達山の手福祉センターがあり活動する場所が近くになれば地域団体も活動出来なくなります。どうか卓球等運動する場所もつくって下さい。</p>	
77	<p>生田文化会館の体育室を月3～4回程度、利用させてもらっています。</p> <p>自宅近くなので、長年お世話になっていますが、時間の少ない時でも行って運動をし、体力作りしたり、ストレス発散したりと地域に密着した有難い場所です。ここは稼働率が高く、曜日によっては使用申し込み倍率が何十倍というときもあります。</p> <p>ここ何年かで、老朽化により取り壊された体育館もあり、使える場所が少なくなっている中で、場所の取り合いのような状態です。</p> <p>体育室をなくし、まとめて磯上公園という事になれば、もっとその状態が酷くなると思います。そうなれば、気軽にスポーツを楽しむ機会も減ってしまいます。高齢化が進み、健康寿命を延ばすためにも、地域にこういった場所は必要です。新しく施設を増やすのが難しいのであれば、せめて既存の場所を残して欲しいです。</p> <p>こういった事から、生田文化会館の体育室を継続して使用できるよう再検討をお願いします。</p>	

78 ~ 97	<p>近隣住民にとって、三宮へ施設機能を集約され生田文化会館のような文化・スポーツ施設がなくなるとは、地域の住民にとって大きな痛手となります。長寿社会の現在において高齢者の憩いとなる文化施設・健康維持増進のためのスポーツ施設は必要不可欠です。県庁の近隣住民（70代以上の住人が多い）にとって近くで便利な現在の生田文化会館の場所近くに、健康に自宅で長く生活する為に身近で日々利用できる文化・スポーツ施設は最低不可欠である。是非とも、県庁近くに文化施設・スポーツ施設の設置して頂く事を強く要望致します。（同一内容文面 20件）</p>	
98 ~ 122	<p>今後、勤労会館、生田文化会館、葺合文化センターの機能を一体化した施設が、現在の3号館の場所に来ることとなり、中央区民全体にとっては便利になり、使いやすくなると思います。ただし、生田文化会館の中には、山手福祉センターがあり、地域福祉センターは地域のコミュニティの拠点であるということをお忘れしないで頂きたい。以前から地域の意見として要望しているとおり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つは、今後、生田文化会館をどのように活用するのか、検討する中で、可能な限り、山手福祉センターを、現在の場所か、若しくは近隣の場所に確保して、地域団体の活動が継続できるようにして、いただきたい。 ・もう1つは生田文化会館が、なくなるのに合わせて、今後も、地域住民の集会は、もちろんのこと、クリスマス会など、地域イベントや、卓球、たいそうなど、健康促進の為に使えるような、多目的利用できるスペースを確保して、頂きたく、熱く要望します。（同一内容文面 25件） 	<p>新たな文化施設（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」でご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行いました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>今後はこの基本計画に基づいて設計を進め、出来るだけ早く新総合庁舎が完成するよう努めてまいります。</p> <p>現在の山手地域福祉センターの移転が必要となった際には、現在の生田文化会館の周辺に活動場所を確保できるよう努めさせていただきます。</p>
123 ~ 157	<p>施設機能を三宮に集約される近隣住民にとっては生田文化会館の様な施設を、県庁近くに、生田文化会館が三宮に集約された後にも設置して頂きたい。県庁周辺に広がる住宅住民にとっても又、地下鉄、バス利用者共に利用し易い現在に近い場所など身近で日々利用し易い施設として、必要である。地域福祉センター整備同様50代後半よりの住人が多く自宅で元気に健康に長く生活する為にも、文化スポーツ施設の整備を身近にも、切望する所です。（同一内容文面 35件）</p>	<p>また、地域の皆さまからも地域住民の集会のほかクリスマス会などのイベント、卓球、体操などに活用できる多目的なスペースの確保について、ご意見をいただいているところです。</p> <p>地域からのご意見、ご要望も踏まえつつ、生田文化会館や山手地域福祉センターの今後のあり方について検討してまいります。</p>
158 ~ 205	<p>今回、生田文化会館がなくなるとしても、今後も、地域住民の集会はもちろんのこと、クリスマス会・老人向け食事会など地域におられる高齢者のための休憩場所の提供とともに、住民が地域イベントや卓球・体操に参加しやすい環境を整えることが健康促進にもつながり、安心して暮らせる社会になるのではないのでしょうか。その為にも新地域福祉センター内にこのような多目的スペースを確保していただくか、または周辺近隣に設置していただける事を強く要望します。（同一内容文面 48件）</p>	

■基本計画全般に反対する意見

No.	意見本文	神戸市の考え方
206 ～ 246	中央区役所、神戸市勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の市役所3号館への移転に反対します。 (同一内容文面 41件)	神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考えていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。
247 ～ 251	移転計画に反対します。 (同一内容文面 5件)	三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々な考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。
252	中央区役所を移転反対	
253	税金のムダづかい中央区役所の移転反対	中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。
254	今のままで良いと思います。むだなお金使いだと思えます。もっと他のことに使ってほしい。	その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。
255	移転反対。区役所も未だ40年くらいのビルでこわすのは、もったいない。私らは築50年の建物に住んでいる。もっと福祉の方へ廻して下さい。	加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。
256	中央区役所、神戸市勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の市役所3号館への移転に反対します。三宮周辺に集中するのではなく、地域の人達が気軽にでかけられるためにも現在のままで良いと思う。	このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。
257	中央区役所、神戸市勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の市役所3号館への移転に反対します。文化センター、文化会館等は1極集中するのではなく区域的に分散してこそ、意義がある。	その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。
258	中央区役所、神戸市勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の市役所3号館への移転に反対します。 この議題が取り上げられる前に取り組むべき事があったはず、ex.利用状況はどうだったのか、採算は取れていたのか、いざという時の為に残しておいた方が良いという考えなら、ムダは省くべきです。区民が無関心すぎる。	このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様は少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。
259	中央区役所、神戸市勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の市役所3号館への移転に反対します。中央に文化施設が移されると行にくくなります。地元で使い易い会場を作して下さい。	
260	今回の移転計画に大反対です。誰が言い出したのでしょうか？どう変えても公平に運ぶのは難しいでしょうが・・・三宮に集中させて誰が喜ぶのでしょうか？	

261	<p>今回の三宮全体の開発はこれからの神戸にとって重要なことと思います。ですがこれに伴う、施設の統合については常日頃利用している者にとって喜ばしいことではありません。</p> <p>生田文化、葺合、三宮勤労会館、常に多くの方が利用しております。</p> <p>体育館を礎上に、というのは一つの案としてよいと思いますが、三施設あったものを集約というのは無理があるのではと思います。体育館の利用者は、高齢者も含め近年増えており既存の施設で活動するのも困難な今、集約というのは今まで利用している者にとってスポーツを辞めざる負えない状況になります。</p> <p>活性化も重要ですが、市民にとって住みやすい、住み続けたいと思える整備計画を進めてほしいと思います。</p> <p>私たちにとっても楽しみに思える整備を何卒よろしくお願ひいたたく強く希望いたします。</p>	<p>神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考えていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。</p> <p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。</p> <p>加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。</p>
262	<p>築後30数年経過しており不具合や老朽化があるのは理解できるが、一体整備をすることに對して利用者が不便になるのは目に見えていると思います。</p> <p>文化施設や体育館など地域に根付いた施設だからコミュニティの場としての存在意義があるのだと思います。</p> <p>阪神・淡路大震災の被害から20年以上経過し、庁舎2号館は築60年を迎える事から再整備を検討していく時期に来ているのかもしれないが、神戸市民が移転・建て替えに納得する税金の使い方がされてきたのが疑問です。神戸空港や大手スーパーの進出・撤退などが続き、先に述べた阪神大震災への被害の影響はまだまだ続いており「神戸は復興したように見えるが震災は終わっていない」と悲痛に話される人々がたくさんいます。</p> <p>このような事も踏まえ、最優先に検討する事は山のようにあると思います。</p>	<p>このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は礎上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p> <p>また、礎上公園においては、現在の勤労会館・生田文化会館の体育館・体育室の利用率を踏まえ、十分な機能を確保していきます。</p>

263	<p>神戸市は区民が希望もしていない三宮再整備でバスターミナルを伴う巨大ビルを建てるために、中央区役所、勤労会館を潰し、生田文化会館、葺合文化センターを移転廃止しようとしています。以下の通り絶対反対します。</p> <p>1、中央区役所、勤労会館は区民にとって大事な施設であり、現在の場所が大変便利であり、耐用年数にも問題がないとの事であり整備の上そのままとして下さい。</p> <p>1、生田文化会館、葺合文化センターは近隣の方が利用されており、大切なふれあいの場となっている様です。遠方に移転したら通っていくのもむずかしくなり、ふれあいのきずながたち切られる事になります。現状のままとして下さい。</p> <p>1、文化施設（ホール）についても、大ホール、中ホールが別々となるのは、運営上、常識的に考えられません。現状のまま活用する事が区民（市民）にとって最適です。</p>	<p>神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考えていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々な考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。</p> <p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。</p> <p>加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。</p> <p>このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p> <p>また、新たな文化ホールの整備については、基本計画検討委員会を設け、芸術家や芸術文化団体関係者、学識経験者、経済界、市議会等に幅広くご参加いただき、様々な観点からご意見をいただきながら検討を進めています。加えて、文化団体や利用者への個別のヒアリング、アンケート、パブリックコメントも実施していく予定です。</p>
264	<ul style="list-style-type: none"> ・生田文化会館は地域の文化施設として残して欲しい。 ・体育館を磯上公園に移設するなんて止めて欲しい。 ・中央区に統合した時、生田文化会館と葺合文化センターは地域に残すと約束した。 ・文化ホールも現在の場所が良い。 	
265	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸文化ホール、大倉山の地にあって文化の森の様で神戸のシンボルの様に思っ私は大好きな場所です。移転には反対です。 ・神戸勤労会館は駅地下で使いやすい。移転には反対です。 	
266	<p>①神戸文化ホールを移転することに反対です。今も利用していますが、使い易く、地下鉄からも近くて便利です。わざわざ移転する意味がわかりません。文化・スポーツ施設の地域として残してください。</p> <p>②神戸三宮勤労会館に各地域にある文化会館なども集約するということですが、今でも常に一杯でなかなか借りにくく、利用しにくい状態です。会議室などが少なくなれば、今以上に利用したくても出来なくなります。各地域に身近な会館こそ市民が求めています。効率優先では文化が育ちません！</p> <p>③大阪などの大都市の模倣をするのではなく、神戸らしさ、神戸良い所をアピールするような計画に見直してください。</p>	

<p>267 住民に直結する生田文化会館や葺合文化会館を現在市役所3号館跡に中央区役所と一体化させる事に反対です。災害時の緊急避難場所がなくなります。地域毎にある文化会館をなくす事は住民が使用に應じられなくなるでしょう、利用を減らす事につながります。地域の住民が助け合って生きてゆくのに必要な施設を無くさないで下さい。</p>	<p>神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考えていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。</p> <p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。</p> <p>加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。</p> <p>このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p> <p>また、現在の葺合文化センターや生田文化会館は災害時の緊急避難場所として指定されておりませんので、災害時には近隣の学校など、避難場所として指定されている施設への避難をお願いいたします。</p>
---	---

268	<p>交通（バス等の便が無く不便になるので移転反対）</p>	<p>神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考え、ていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。</p> <p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通利便性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。</p>
269	<p>新中央区総合庁舎整備基本計画（案）に反対します。</p> <p>理由</p> <p>私は、ポートアイランドに住んでいます。</p> <p>中央区役所、勤労会館が移転すれば負担が大きくなると思うからです。</p> <p>私は高齢者です。</p> <p>区役所、勤労会館は行かなければならない、また利用する施設です。高齢者にとって、長い距離を歩くことが、行きづらさにつながると考えています。</p>	<p>加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。</p> <p>このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p> <p>今後、新中央区総合庁舎の設計を進めていくにあたっては、現在「さんちか」からの地下道に直接つながっており、建替えに向けた検討を進めている市役所2号館側からの行き来しやすいアクセスの確保など、来庁される方のアクセスについてどのようなことが出来るのか、関係部局と連携しながら検討していきます。</p>

270	<p>市民から数多く聞いて「一体整備を望んでいる多かった」と言われている。本当に多数の声とは思われません。市は国の施策に沿って三宮再開発を行い、大企業、資産家本位を促進しているだけと思われます。市民本位の施策を行って下さい。総合基本計画を知っている市民は少なく、もっと地域住民利用者にアンケート調査を実施し、意見を広報などで知らせるべきだと思います。</p> <p>市役所3号館に移転については、地域での交流文化行事に参加できる場を失うことになり、市民の小さな楽しみをうばうことになることはやめてもらいたい</p>	<p>神戸の玄関口である三宮周辺地区は様々な課題を抱えており、その再整備は神戸全体のまちや経済の活性化を考えていく上で不可欠であり、魅力的で風格ある都市空間を目指して三宮周辺地区の「再整備基本構想」を平成27年9月に策定しました。三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。</p> <p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。</p> <p>このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p>
271	<p>中央区役所、勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館の移転計画に反対します。</p> <p>1、ポートアイランドから往復500円の運賃で三宮駅まで来てまだそこから歩くか又は乗物を利用しないとけなくなるのは、高齢者にとってとても困ります。私はもちろんポーアイ住民もほとんど高齢者が多くなり、今より遠くなる区役所や勤労会館移転はとても受け入れられません。</p> <p>2、文化センター、文化会館が地域から離れるという事も、地域の人が使えなくし廃止しようと考えているとしか思えません。地域に住む者が文化やスポーツを楽しむ場、集いをして元気に過ごせるコミュニティーの場を奪わないでほしい。ポーアイには文化、体育施設がないので、港島会館をもう一度再建してほしいです。</p> <p>3、まだ使用出来る体育館や文化ホールを分散させて新しく建てる（市役所や、ターミナルビル内に吸収してしまう）のは税金の無駄である。</p> <p>どうか税金を私達の為（市民）に使って下さい。子どもの医療費の中学卒業まで無償化、中学給食の充実（自校方式）健康保険料を安くしてほしいです。もっと若い世帯の人が安心して子育て出来る様に保育所（認可）を増やしてほしいです。</p> <p>※パブリックコメント募集について</p> <p>（インターネットや公報に計画を載せても、高令者などは閲覧は難しいので、この様な税金を多く投入する計画は、直接説明会を開いて意見を聞くのが、為政者の誠意ある姿勢ではないでしょうか。）</p>	<p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。新庁舎の検討を進めていくにあたっては、その各段階ごとに、様々な手法を講じて出来る限り周知に努めて意見募集を実施し、いただいた意見を踏まえて検討してきました。そして、この度市民意見募集の実施にあたっては、これまでの取り組みに加えて、各施設において貼り紙をしたり、地域活動団体の会合に出向くなど、さらに周知に努めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後ともさらなる情報発信に努め、市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p> <p>また、今後、新中央区総合庁舎の設計を進めていくにあたっては、現在「さんちか」からの地下道に直接つながっており、建替えに向けた検討を進めている市役所2号館側からの行き来しやすいアクセスの確保など、来庁される方のアクセスについてどのようなことが出来るのか、関係部局と連携しながら検討していきます。</p>

272	<p>結論から申し上げます。この計画案に『反対』です。</p> <p>理由として：</p> <p>①今、この街にこんな巨大な建物が必要なのか</p> <p>②神戸らしさを生かした街づくりを本気で考えたのか</p> <p>③お金はあるのか</p> <p>以上、ざっと考えて思いうかぶ3点についても市が広報で発表した記事の中からは答えはみつきりません。</p> <p>「神戸ブランド」を生かす街づくりは、色とりどりの小さなお店が個性を表した店がまえて、客の心をつかむ経営者をともに育てていくことではないでしょうか。</p> <p>ぜひ考えなおして身の丈に合った神戸の街にしていってください。</p> <p>どこの大都会と同じでは楽しくない。</p> <p>「また神戸に行ってみよう」「行こう!」と思ってもらう街並をここに暮らす市民と作っていくべきです。本籍が東京にあるような店（建物）はいりません。</p>	<p>神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。新たなバスターミナルの整備については、三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定過程で開催された三宮構想会議等において、市民の方々から三宮駅周辺は「乗り換え動線がわかりにくい」、「駅から周辺のまちへのつながりが弱い」、「駅前広場の交通結節機能が弱い」などの意見があり、特に中・長距離バスについては、駅の東西6箇所に乗り場が分散し、利便性や交通弱者への配慮が十分でないことや、一部の交差点にバスが集中して慢性的に渋滞が発生しているなどの課題がありました。これらを踏まえ、分散している中・長距離バスの乗降場をミント神戸の既存バスターミナルとの一体利用を想定し、隣接する雲井通5・6丁目に集約し、新たなバスターミナルを整備することを、三宮周辺地区の『再整備基本構想』に位置付けております。また、新たなバスターミナルの整備を計画している雲井通5・6丁目エリアは、JR三ノ宮駅の東の直近に位置しており、ポテンシャルが高く、また「特定都市再生緊急整備地域」に含まれ、都市の国際競争力強化を図る拠点としての役割が期待されているエリアでもあります。そのためエリアの再整備では、新たなバスターミナルの整備に加え、都市間競争において選ばれるための魅力・活力を創造する都心にふさわしい高質な都市機能の集積を図ることで、国際都市神戸としての発展に繋げていきます。新たなバスターミナルを含む都心・三宮の再整備において三宮周辺地区の魅力を上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。</p> <p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通利便性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。</p> <p>加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p>
273	<p>中央区役所や勤労会館の移転に反対します。</p> <p>市の言い分では3号館をたてかえ、中央区役所や勤労会館、葺合文化センター、生田文化会館を移転させ現在市役所の仕事をしている部署が入るところが不足すると民間ビルを借りて仕事をするとのこと、まったく何を考えていらっしゃるのかとその意図を疑います。バスターミナルありきがまちがっているのです。しかも3号館のたてかえで95億ともいわれる市民のお金を使われるのを市民は黙っているわけにはいきません。現在の区役所でなら困ることはないし、便利に思っています。移転に絶対反対。</p>	<p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通利便性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。</p> <p>加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p>

274	<p>勤労会館・生田文化会館などを無くして、1つの文化施設に集約することは区民・市民の利便性から考えて良いことではない。中央区の中で文化施設が点在していることの方が、区民が利用しやすいと思う。また、区役所の場所は現在の場所が多くくの区民に認知されており、利便性の面からみても、新たな設置場所である市役所本庁舎3号館に移転する必要はない。三宮地域の再整備ありきではなく、区民・市民の立場に立って考えて頂きたい。</p>	<p>神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、三宮周辺地区の魅力を向上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであり、不可欠なものと考えています。</p> <p>その実現に向けて、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。</p> <p>その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。</p> <p>加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。</p> <p>このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p>
275	<p>新中央区庁舎整備基本計画案に反対します。勤労会館や、葺合文化センターや生田文化会館など地域で活動するために必要不可欠な施設を神戸市役所と同じ場所にすることは、今まで地域で利用していた方が利用できなくなります。その意見を一切考慮せずに計画を進めないでください。また、三宮再開発に莫大なお金を使わず、福祉や教育などに最優先に予算を充ててください。三宮再開発やそれに伴う移転などの計画を中止してください。</p>	<p>このように経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p>

276	<p>・なんだかんだ移転の必要性を謳っているが、大資本と組んだ「三宮再開発」の一環で区役所周辺を空けたいところから出発している話なので、そもそも移転の必要が本当にあるのかという意見を市民から募るほうが先ではないか。私自身は移転の必要性を感じないので今の場所での再整備なら構いません。</p> <p>・様々な文化施設を一極集中する意味はまったくないのでは。移転先も磯上公園は駅から遠すぎて不便極まりないし、文化ホールはバスターミナルを作ることが前提になっているが、バスターミナル自体が必要だとは思えない。</p> <p>・それぞれの文化施設は今の場所での建て替え・整備をすすめるべき。</p> <p>・安倍首相に「神戸は国際化を」言われ、大資本の言うままに開発を進めるヒラメ市政はやめてください。市民のための政策を！</p>	<p>神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿(将来ビジョン)及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。新たなバスターミナルの整備については、三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定過程で開催された三宮構想会議等において、市民の方々から三宮駅周辺は「乗り換え動線がわかりにくい」、「駅から周辺のまちへのつながりが弱い」、「駅前広場の交通結節機能が弱い」などの意見があり、特に中・長距離バスについては、駅の東西6箇所に乗り場が分散し、利便性や交通弱者への配慮が十分でないことや、一部の交差点にバスが集中して慢性的に渋滞が発生しているなどの課題がありました。これらを踏まえ、分散している中・長距離バスの乗降場をミント神戸の既存バスターミナルとの一体利用を想定し、隣接する雲井通5・6丁目に集約し、新たなバスターミナルを整備することを、三宮周辺地区の『再整備基本構想』に位置付けております。また、新たなバスターミナルの整備を計画している雲井通5・6丁目エリアは、JR三ノ宮駅の東の直近に位置しており、ポテンシャルが高く、神戸の活性化に寄与する有効的な利用を行うことが求められるエリアでもあります。そのためエリアの再整備では、新たなバスターミナルの整備に加え、都市間競争において選ばれるための魅力・活力を創造する都心にふさわしい高質な都市機能の集積を図ることで、国際都市神戸としての発展に繋げていきます。新たなバスターミナルを含む都心・三宮の再整備において三宮周辺地区の魅力を向上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。また、神戸をさらなる高みに押し上げていくために、三宮周辺だけでなく、市域全体においてバランス良く、魅力ある地域づくりや地域課題の解決などの取り組みを進めております。「新たな中・長距離バスターミナルの整備」が位置付けられている「三宮周辺地区の『再整備基本構想』（平成27年9月）」の策定にあたっては、市民と共に考えることを重視し、「300人市民会議」や「対話フォーラム」、「シンポジウム」などを開催し幅広く市民のご意見を取り入れてきました。また、地元まちづくり協議会の代表などで構成される有識者会議を開催し議論を重ねるとともに、市民意見募集の手続きで様々なご意見をいただき取りまとめを行いました。また、平成30年3月に神戸市が策定した「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」の策定においても市民意見募集のほか、市民代表や交通事業者等幅広い関係者から構成された「都心三宮再整備推進会議」で意見を頂いたほか、計画エリアの地権者等とも意見交換を行い様々な意見を頂いています。</p>
277	<p>・中央区役所や勤労会館を本庁舎3号館跡地へ移転させなければならない必要性がまったくない。跡地にバスターミナルや高層タワーを建設して大企業を儲けさせるために、邪魔な区役所や勤労会館を移転させるということではないか。</p> <p>利用者の利便性の観点から立地条件を比較すれば、どう見ても現在の場所の方が優位である。この計画が利用者の利便性とはまったく別の思惑で策定されていることは、この単純な事実をみるだけでも明らかである。</p> <p>仮に建て替えやリニューアルの必要があるとしても、現在の場所か、もっと駅に近い場所に移転するというのがあれば、まだ理解のしようもある。人口減少や高齢化を前提にしたまちづくりでは、公共施設等は駅周辺に集約していくことが基本だと考えるからである。</p> <p>利便性を犠牲にすることで市民が得られる代償は何か説明するべきである。また新庁舎建設に関する費用だけでなく、将来にわたる維持費の負担なども明らかにすべきである。人口減少や高齢化が進むと言われる今後の市民負担を心配するのは当然である。</p> <p>今後空き家や空き地が増加し、それらの活用機会が広がるであろうことを考えれば、現在あわてて公共施設の移転や建設をする必要はないはずである。</p> <p>人の流れや経済効果の予測も口々にせず、無責任な計画をトップダウンで強引に進めるならば、必ず将来に禍根を残すことになる。このような計画はいったん白紙にもどし、住民本位の立場でまちづくりを見直すべきである。</p> <p>・葦合文化センター、生田文化会館などは、それぞれの地域にあってこそ地域住民の文化施設として機能するのであり、三宮に集約されてしまえば、それらの「機能を確保」することなどどう考えても不可能である。地域住民のための施設を無くしておいて、三宮に新施設を建設すればその「機能を確保」できるなどというのは、まったくの詭弁である。利用者・住民にとっての「立地条件」こそが、公共施設がその機能を果たすうえで決定的に重要であることを踏まえ、これら施設の統廃合についても、地域住民の視点で一から見直すべきである。</p> <p>・本計画を含む三宮再整備関連の計画内容について市民が十分理解しているとは到底言えず、意見募集（パブコム）が実施されていることも多くの市民は知らない状況である。</p> <p>計画を進めたいのであれば、全市民規模で、各地域の自治会単位などでのかきめ細やかな情報提供と意見集約が必要である。このままでは多くの市民が「知らない間に決まっていた」という事態に陥るのは明らかである。</p> <p>住民の合意（住民自治）をおろそかにした街づくりは、必ず矛盾を生む。神戸市は地方自治の本旨に立ち返るべきである。</p>	<p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々な考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通利便性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葦合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。加えて、今後の本格的な人口減少社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。このため、新たな文化施設に統合したあとは、葦合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葦合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。新庁舎の検討を進めていくにあたっては、その各段階ごとに、様々な手法を講じて出来る限り周知に努めて意見募集を実施し、いただいた意見を踏まえて検討してきました。そして、この度市民意見募集の実施にあたっては、これまでの取り組みに加えて、各施設において貼り紙をしたり、地域活動団体の会合に出向くなど、さらに周知に努めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後ともさらなる情報発信に努め、市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p>

280	<p>基本計画について同意できません。撤回すべきです。</p> <p>公共施設とりわけその中心となる区役所の移転について何よりも大切なことは、住民の意見を大切にすることだと思います。また公共施設の利便性の第一の基準は距離的に「より近く」にあることだと思います。</p> <p>まず住民の意見についてです。今回の新庁舎の移転に当たっては、住民の意見が反映されていません。今回の中央区役所の移転の真の理由は、集客力のある文化・芸術機能、高規格の業務機能や宿泊機能など都心にふさわしい高質で多様な都市機能の集積を図るためのバスターミナルビル建設が目的で、その底地として中央区役所や勤労会館を移転しようとするもので市民・住民が求めたものではありません。</p> <p>次に利便性についてです。移転先が三宮のターミナルからより遠くなることは明らかです。ましてや、これに便乗して葺合文化センターや生田文化会館が市役所3号館に移転するなど絶対に許されません。また勤労会館内の体育館が新庁舎に入りきらず磯上公園に移転するなどもってのほかです。</p>	<p>神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。新たなバスターミナルの整備については、三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定過程で開催された三宮構想会議等において、市民の方々から三宮駅周辺は「乗り換え動線がわかりにくい」、「駅から周辺のまちへのつながりが弱い」、「駅前広場の交通結節機能が弱い」などの意見があり、特に中・長距離バスについては、駅の東西6箇所に乗り場が分散し、利便性や交通弱者への配慮が十分でないことや、一部の交差点にバスが集中して慢性的に渋滞が発生しているなどの課題がありました。これらを踏まえ、分散している中・長距離バスの乗降場をミント神戸の既存バスターミナルとの一体利用を想定し、隣接する雲井通5・6丁目に集約し、新たなバスターミナルを整備することを、三宮周辺地区の『再整備基本構想』に位置付けております。</p> <p>新たなバスターミナルを整備するエリアについては、①鉄道などその他の交通機関と近接していること。②既存のミント神戸と一体的な利用が可能であること。③阪神高速生田川ランプ、新神戸トンネル等の交通アクセス性が良いこと。④中・長距離バスが神戸に到着した際に、神戸のまちが視覚的に感じられること。これらの要素を総合的に判断して雲井通5・6丁目エリアを選定しております。</p> <p>また、新たなバスターミナルの整備を計画している雲井通5・6丁目エリアは、JR三ノ宮駅の東の直近に位置しており、ポテンシャルが高く、また「特定都市再生緊急整備地域」に含まれ、都市の国際競争力強化を図る拠点としての役割が期待されているエリアでもあります。そのためエリアの再整備では、新たなバスターミナルの整備に加え、都市間競争において選ばれるための魅力・活力を創造する都心にふさわしい高質な都市機能の集積を図ることで、国際都市神戸としての発展に繋がっていきます。新たなバスターミナルを含む都心・三宮の再整備において三宮周辺地区の魅力を上向きさせることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを上向きさせることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々に考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通利便性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。新中央区総合庁舎の設計を進めていくにあたっては、現在「さんちか」からの地下道に直接つながっており、建替えに向けた検討を進めている市役所2号館側からの行き来しやすいアクセスの確保など、来庁される方のアクセスについてどのようなことが出来るのか、関係部局と連携しながら検討していきます。</p> <p>また、体育館・体育室機能については、磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設とあわせて整備検討を進めますが、現在の勤労会館・生田文化会館の体育館・体育室の利用率を踏まえ、十分な機能を確保していきます。これにより周辺地域の活性化や賑わいの創出、さらには都心・三宮再整備のエリアに位置する施設として、まちの回遊性や新しい人の流れの創出を図っていくこととしています。</p> <p>新たな文化ホールの整備については、基本計画検討委員会を設け、市民代表のほか芸術家や芸術文化団体関係者、学識経験者等、経済界等に幅広くご参加いただき、様々な観点からご意見をいただきながら検討を進めています。加えて、文化団体や利用者への個別のヒアリング、アンケート、パブリックコメントも実施していく予定です。</p>
281	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区役所の廃止移転について私の家から遠くなるのが、目に見えているので、遠くしないでほしい。 ・葺合文化センターも遠くなり、電車で行かなければならない。これも遠くしないで欲しい。 ・体育館 磯上公園に集められても遠くていきにくい。 ・バスターミナルが巨大になっても、住民のメリットはない。大型開発反対です。 	<p>このように、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このように、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p>

<p>私は神戸市出身で中央区で50数年お世話になっています。区役所のこと、大変迷惑で困ります。現在なら何とか歩いて行けますが、市役所の3号館など、とても無理でタクシー利用になり、バスターミナルのために移転など、考えられません。</p> <p>バスターミナルもこの神戸三宮に必要ないと思います。アニメの世界ではなくこの美しい神戸の中心です。</p> <p>文化ホール趣のある大ホール、車道から眺めワクワクする舞台それが美しくもないビル街の中に？</p> <p>神戸市にそんな莫大なお金があるなら、未来を支える子供達のためや福祉や犯罪の防止に力を入れてほしい。</p>	<p>神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。新たなバスターミナルの整備については、三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定過程で開催された三宮構想会議等において、市民の方々から三宮駅周辺は「乗り換え動線がわかりにくい」、「駅から周辺のまちへのつながりが弱い」、「駅前広場の交通結節機能が弱い」などの意見があり、特に中・長距離バスについては、駅の東西6箇所に乗り場が分散し、利便性や交通弱者への配慮が十分でないことや、一部の交差点にバスが集中して慢性的に渋滞が発生しているなどの課題がありました。これらを踏まえ、分散している中・長距離バスの乗降場をミント神戸の既存バスターミナルとの一体利用を想定し、隣接する雲井通5・6丁目に集約し、新たなバスターミナルを整備することを、三宮周辺地区の『再整備基本構想』に位置付けております。</p> <p>新たなバスターミナルを整備するエリアについては、①鉄道などその他の交通機関と近接していること。②既存のミント神戸と一体的な利用が可能であること。③阪神高速生田川ランプ、新神戸トンネル等の交通アクセス性が良いこと。④中・長距離バスが神戸に到着した際に、神戸のまちが視覚的に感じられること。これらの要素を総合的に判断して雲井通5・6丁目エリアを選定しております。</p> <p>また、新たなバスターミナルの整備を計画している雲井通5・6丁目エリアは、JR三ノ宮駅の東の直近に位置しており、ポテンシャルが高く、また「特定都市再生緊急整備地域」に含まれ、都市の国際競争力強化を図る拠点としての役割が期待されているエリアでもあります。そのためエリアの再整備では、新たなバスターミナルの整備に加え、都市間競争において選ばれるための魅力・活力を創造する都心にふさわしい高質な都市機能の集積を図ることで、国際都市神戸としての発展に繋がっていきます。新たなバスターミナルを含む都心・三宮の再整備において三宮周辺地区の魅力を上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々な考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。</p> <p>中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通利便性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様から少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。、新中央区総合庁舎の設計を進めていくにあたっては、現在「さんちか」からの地下道に直接つながっており、建替えに向けた検討を進めている市役所2号館側からの行き来しやすいアクセスの確保など、来庁される方のアクセスについてどのようなことが出来るのか、関係部局と連携しながら検討していきます。</p> <p>また、体育館・体育室機能については、磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設とあわせて整備検討を進めますが、現在の勤労会館・生田文化会館の体育館・体育室の利用率を踏まえ、十分な機能を確保していきます。これにより周辺地域の活性化や賑わいの創出、さらには都心・三宮再整備のエリアに位置する施設として、まちの回遊性や新しい人の流れの創出を図っていくこととしています。</p> <p>新たな文化ホールの整備については、基本計画検討委員会を設け、市民代表のほか芸術家や芸術文化団体関係者、学識経験者等、経済界等に幅広くご参加いただき、様々な観点からご意見をいただきながら検討を進めています。加えて、文化団体や利用者への個別のヒアリング、アンケート、パブリックコメントも実施していく予定です。</p>
--	---

<p>283</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館、生田文化会館の体育館、磯上公園に集められると遠くて行きにくい ・ バスターミナルが巨大になると、分かりにくくなり住民のメリットはない大型開発反対です。 ・ 神戸文化ホールの大、小ホールは文化の森の様で地下鉄から直結でいけるので移転は反対です。 	<p>平成30年3月に神戸市が策定した「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」でお示ししたバスターミナルの規模は、現在、三宮駅周辺に分散している6箇所の31のバス乗降場に、一日あたり約1,400便発着しているバスを集約することを前提としており、その上で、バス利用者にとって分かりやすいバスターミナルとするために、まずは乗車場と降車場を分け、更に乗車場については時間帯によって乗車場が変わらないよう、行き先毎に固定した場合に必要な数と、バスを円滑に運用させるために必要な待機スペースの確保などを考慮し算出しております。</p> <p>最終的な規模については、行き先方面別集約方法や、将来需要、都心部を起点とする観光バス等への対応などを考慮し、今後策定する事業計画において確定していきます。</p> <p>三宮周辺地区の行政施設については、「再整備基本構想」の実現に向け、各施設が持つ機能や規模などを様々な考え合わせ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で全庁的な検討を進めてきました。中でも、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている葺合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。このため、新たな文化施設に統合したあとは、葺合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。</p> <p>その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて葺合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。</p> <p>このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後とも市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。</p> <p>また、体育館・体育室機能については、磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設とあわせて整備検討を進めますが、現在の勤労会館・生田文化会館の体育館・体育室の利用率を踏まえ、十分な機能を確保していきます。これにより周辺地域の活性化や賑わいの創出、さらには都心・三宮再整備のエリアに位置する施設として、まちの回遊性や新しい人の流れの創出を図っていくこととしています。</p> <p>新たな文化ホールの整備については、基本計画検討委員会を設け、芸術家や芸術文化団体関係者、学識経験者、経済界、市議会等に幅広くご参加いただき、様々な観点からご意見をいただきながら検討を進めています。</p> <p>加えて、文化団体や利用者への個別のヒアリング、アンケート、パブリックコメントも実施していく予定です。</p>
--	---

この計画は広報が不十分で、市民の理解不足のまま形式的手続きはすすんでます。このような計画は反対です。

中央区役所は地区38年程で取り壊しは早すぎる。老朽化不具合との理由ならそれら事柄を積極的に公表し理解を求めるべきです。

本庁2号館（築59年）並に保守・管理すべき

バスターミナルを一ツに集約する必要なし

現在でも不都合はない。発着場は外来者でも市民でも利用者なら調べたり教えてもらえればわかります。だから今も地図での案内板とか案内所（人）を配置等配慮はありません。

この開発の中身をよく知らせないままでは困ります。税金のムダ使いにならないか不安です。神戸経済と市民生活向上に役立つか真剣に考えてください。

神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。新たなバスターミナルの整備については、三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定過程で開催された三宮構想会議等において、市民の方々から三宮駅周辺は「乗り換え動線がわかりにくい」、「駅から周辺のまちへのつながりが弱い」、「駅前広場の交通結節機能が弱い」などの意見があり、特に中・長距離バスについては、駅の東西6箇所に乗り場が分散し、利便性や交通弱者への配慮が十分でないことや、一部の交差点にバスが集中して慢性的に渋滞が発生しているなどの課題がありました。これらを踏まえ、分散している中・長距離バスの乗降場をミント神戸の既存バスターミナルとの一体利用を想定し、隣接する雲井通5・6丁目に集約し、新たなバスターミナルを整備することを、三宮周辺地区の『再整備基本構想』に位置付けており、平成30年3月にはバスターミナルの整備に向けた基本計画を策定しました。

新たなバスターミナルを整備するエリアについては、①鉄道などその他の交通機関と近接していること。②既存のミント神戸と一体的な利用が可能であること。③阪神高速生田川ランプ、新神戸トンネル等の交通アクセシビリティが良いこと。④中・長距離バスが神戸に到着した際に、神戸のまちが視覚的に感じられること。これらの要素を総合的に判断して雲井通5・6丁目エリアを選定しております。

また、新たなバスターミナルの整備を計画している雲井通5・6丁目エリアは、JR三ノ宮駅の東の直近に位置しており、ポテンシャルが高く、また「特定都市再生緊急整備地域」に含まれ、都市の国際競争力強化を図る拠点としての役割が期待されているエリアでもあります。そのためエリアの再整備では、新たなバスターミナルの整備に加え、都市間競争において選ばれるための魅力・活力を創造する都心にふさわしい高質な都市機能の集積を図ることで、国際都市神戸としての発展に繋げていきます。新たなバスターミナルを含む都心・三宮の再整備において三宮周辺地区の魅力を向上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。

一方で、「再整備基本構想」エリアに含まれている市役所本庁舎2号館は築60年、3号館は築51年を迎えて老朽化が進み、建替えを検討する時期にきていました。特に本庁舎2号館においては目指すべき姿について検討を行い、平成30年3月に「本庁舎2号館再整備基本構想」を策定しました。このように、「再整備基本構想」の実現に向け、三宮周辺地区の行政施設については、各施設が持つ機能や規模などの検討に併せ、全体としてどのように配置し、機能を持たせることが最適かという観点で様々な考え合わせながら全庁的に検討を進めてきました。

バスターミナルビルの整備予定エリアにある中央区庁舎については昭和55年に建設され築後40年近くが経過しており、一定の老朽化が見られ、近年では排水管からの漏水や空調機の故障など様々な不具合が発生しており、区民のみならずご迷惑をおかけしないよう、緊急度の高い不可欠な工事を優先して実施しているところです。そのため、中央区庁舎のあり方（機能・規模・設置場所など）については「中央区区民まちづくり会議」を4回開催しご意見を頂くとともに、会議での資料や議事要旨を公開し、区民への意見募集を行ってきました。また勤労会館のあり方についても「勤労者福祉事業懇話会」を4回開催しご意見を頂くとともに、その後市民への意見募集を行ってきました。これらの意見募集の実施の際には市ホームページや広報紙への掲載などにより周知に努めてきました。その中で、中央区庁舎は設置候補地としては交通便利性の面で広く区民の理解を得られる三宮周辺エリアとした上で、具体的な設置場所は限られることから、①バスターミナルビル内、②市役所周辺ゾーン、③民間賃貸ビル内の3つの案をお示したところ、本庁舎3号館跡に建替え移転することや勤労会館についても本庁舎3号館跡あるいは市役所周辺での整備を望む声が多くありました。併せて、老朽化が進み利用率も低くなっている真合文化センターや生田文化会館の機能についても、新たな文化施設として区庁舎・勤労会館との一体整備を望む意見がありました。加えて、今後の本格的な人口減社会、少子・超高齢社会が到来する中、市民ニーズの多様化に対応していくために公共施設の適正な保有量や財政的な負担についても考慮する必要があります。このため、新たな文化施設に統合したあとは、真合文化センター、生田文化会館を現状のまま維持することは難しいといった考え方や、市役所3号館跡では建物の床面積や高さの制約があり、全ての機能を新中央区総合庁舎内に確保することが難しい条件などを示した上で、中央区区民まちづくり会議や勤労者福祉事業懇話会で意見を聞くとともに、市民や中央区民への意見募集を行った結果でも、新中央区総合庁舎と文化施設とを一体で整備を望む意見が多くありました。その結果、本庁舎3号館を解体し、その跡地に「新中央区総合庁舎」として一体整備し、併せて真合文化センターや生田文化会館の機能も確保することとしました。また、新たに整備する文化施設に必要な機能すべてを総合庁舎内で確保することは難しいことが想定されたため、さらに区民・市民の意見をいただき検討した結果、会議室や美術室・音楽室等の特定目的室は新中央区総合庁舎内に、また、体育館・体育室は磯上公園に、ホールはバスターミナルビル内に、それぞれ配置することとしました。このような経緯のもと、「新中央区総合庁舎整備基本計画（案）」について、市民意見募集を実施し、この度「新中央区総合庁舎整備基本計画」を定めました。新庁舎の検討を進めていくにあたっては、その各段階ごとに、様々な手法を講じて出来る限り周知に努めて意見募集を実施し、いただいた意見を踏まえて検討してきました。そして、この度市民意見募集の実施にあたっては、これまでの取り組みに加えて、各施設において貼り紙をしたり、地域活動団体の会合に出向くなど、さらに周知に努めました。今後は、この基本計画に基づいて設計を進めてまいります。今後ともさらなる情報発信に努め、市民の皆様にも少しでもご理解を得られるよう、丁寧に進めてまいります。

■その他の意見

No.	意見本文	神戸市の考え方
285	<p>神戸文化ホールについて、単独施設ではなく複合的な建物との概要ですが、防音面について万全の対策があります様をお願いします。昨年よりフルートの国際的なコンクールが開催されたりされています。芸術面においても益々神戸が発展します様期待しますが、音楽家にとっては雑音や低周波の音無き音、振動にはたいへんシビア、ストイックです。専門家の意見を聞き、充分に対策を取って下さい。</p>	<p>新たな文化ホールの整備については、基本計画検討委員会を設け、芸術家や芸術文化団体関係者、学識経験者、経済界、市議会等に幅広くご参加いただき、様々な観点からご意見をいただきながら検討を進めています。加えて、文化団体や利用者への個別のヒアリング、アンケート、パブリックコメントも実施していく予定です。</p>
286	<p>勤労会館の体育館機能は磯上公園に整備する計画になっているが、賑わいといった視点も含めて三宮のまちが活性化するように整備してほしい。</p>	<p>新中央区総合庁舎整備基本計画では、「体育館・体育室機能については、磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設とあわせて整備検討を進める。これにより周辺地域の活性化や賑わいの創出、さらには都心・三宮再整備のエリアに位置する施設として、まちの回遊性や新しい人の流れの創出を図っていく。」こととしています。今後は、新中央区総合庁舎整備基本計画と併せて、整備検討を進めてまいります。</p>
287	<p>勤労会館の機能のすべてを新たな文化施設に入れるのではなく、基本計画案のように、賑わいの創出といった視点も入れて、体育館やホールを周辺市区に整備をしていくのは良い案だと思います。</p>	<p>新中央区総合庁舎整備基本計画では、「体育館・体育室機能については、磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設とあわせて整備検討を進める。これにより周辺地域の活性化や賑わいの創出、さらには都心・三宮再整備のエリアに位置する施設として、まちの回遊性や新しい人の流れの創出を図っていく。」「ホール機能については、バスターミナル内に移転が計画されている新たな文化ホールの整備検討にあわせ、ホール間の相互連携や相乗効果を考慮しながら検討を進めていく。」こととしています。今後は、新中央区総合庁舎整備基本計画と併せて、整備検討を進めてまいります。</p>
288	<p>三宮の再整備について、出来るだけ早く整備が進むことを期待しております。具体的に事業が進捗してきたものについては、適宜情報発信し進捗状況をオープンにしていきたいと思います。市民と一緒に事業を進めていくようお願いしたい。</p>	<p>再整備の推進にあたっては、今後も広報紙KOBEやホームページ、SNSによる発信など、様々な方法で市内外に向けたプロモーション活動を実施していきます。また、幅広く意見をお聞きしながら、期待に応えられるよう『再整備基本構想』の実現に向けて、スピード感を持って進めていきます。</p>
289	<p>平成27年9月に策定した三宮周辺地区の「再整備基本構想」から、神戸のまちは目に見えて変わっている。今後も、可能な事業については前倒しで着手するなど、この勢いを止めないように進めてほしい。</p>	<p>今後も期待に応えられるよう『再整備基本構想』の実現に向けて、スピード感を持って進めていきます。</p>